

令和5年8月2日

稲作技術資料（号外）【高温対策情報】

－水稻の生育は早まっており、生育に合わせた適切な管理が必要です！－

発行：福島県相双農林事務所農業振興普及部

問い合わせ先：0244-26-1149

1. 稲の生育状況（8月1日現在）

生育状況（浜地域研究所 作柄解析試験生育状況）

| | | 草丈 (cm) | | 茎数 (本/m ²) | | 葉数 | | 葉色 (SPAD502) | | 幼穂形成期 | 出穂期 |
|-------|-----|---------|------|------------------------|------|------|------|--------------|------|-------|------|
| | | 7/18 | 7/25 | 7/18 | 7/25 | 7/18 | 7/25 | 7/18 | 7/25 | | |
| ひとめぼれ | 本年 | 85.3 | 94.6 | 697 | 645 | 12.3 | 12.8 | 36.5 | 33.0 | 7/09 | 7/29 |
| | 平年 | 78.1 | 86.7 | 723 | 669 | 11.5 | 12.2 | 37.6 | 36.4 | 7/09 | 7/31 |
| | 平年比 | 109 | 109 | 96 | 96 | 0.8 | 0.6 | -1.1 | -3.4 | 0 | -2 |
| 天のつづ | 本年 | 79.4 | 84.4 | 630 | 589 | 11.5 | 11.8 | 37.8 | 35.5 | 7/09 | 7/30 |
| | 平年 | 73.8 | 79.6 | 656 | 620 | 10.9 | 11.6 | 39.1 | 37.7 | 7/10 | 8/02 |
| | 平年比 | 108 | 106 | 96 | 95 | 0.6 | 0.2 | -1.3 | -2.2 | -1 | -3 |
| コシヒカリ | 本年 | 86.4 | 93.8 | 628 | 578 | 11.7 | 12.5 | 30.6 | 30.9 | 7/16 | - |
| | 平年 | 81.5 | 90.9 | 665 | 625 | 11.3 | 12.0 | 33.3 | 31.8 | 7/19 | 8/09 |
| | 平年比 | 106 | 103 | 94 | 92 | 0.4 | 0.5 | -2.7 | -0.9 | -3 | - |

注) 7/25調査のひとめぼれ、天のつづは前4カ年の平均値を示す。

- ・生育期間の高温により全体的に出穂が早まっており、出穂期は、ひとめぼれで平年より2日早く、天のつづで3日早くなっています。
- ・ほ場により更に生育が進んでいることもありますので、自らのほ場をよく確認しましょう。

2. 気象予報（7月29日から8月28日） 7月27日 仙台管区気象台発表

<向こう1ヶ月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

| 要素 | 地域 | 低・少 | 平年並み | 高・多 |
|------|------|-----|------|-----|
| 気温 | 東北地方 | 10 | 20 | 70 |
| 降水量 | 東北地方 | 30 | 30 | 40 |
| 日照時間 | 東北地方 | 30 | 40 | 30 |

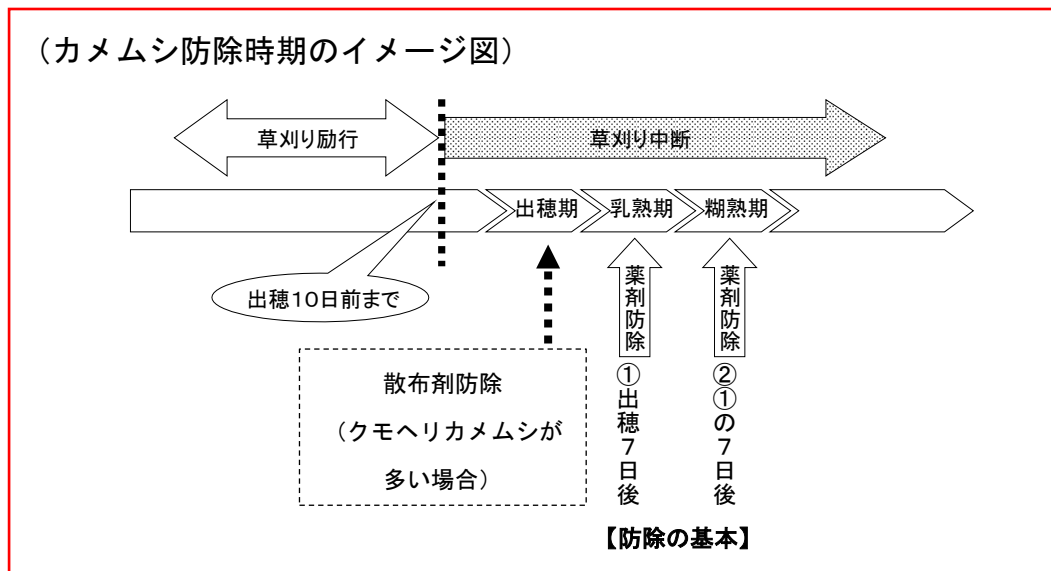
- ・期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- ・東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

3. 水管理

- ・今年は高温の影響で出穂が平年より早い傾向があります。出穂開花時期は湛水状態を保つことが基本です。穂ばらみ期～開花期に水分が不足すると不稔が発生する恐れがあるため注意してください。
- ・登熟期間中に高温が続く場合は、「飽水管理（ひたひた水状態）」や「昼間湛水-夜間落水」を行うことで水田の水温、地温を下げ、根の活力維持を図りましょう。
(飽水管理…自然減水させ、ほ場表面には水が無く溝や足跡に水がたまっている状態になったら3cm程度入水することを繰り返す管理方法)
 - ・また、現在水不足が懸念されていますが、用水が不足している場合には、浅水でもよいので可能な限り水を入れるようにしてください。

4. 斑点米カメムシ類対策【斑点米カメムシ類が多く発生しています！】

- ・ 今年は斑点米カメムシ類が県内全域で多く発生しており、県病害虫防除所から注意報が出されています。しばらく高温が続く見込みであることから、カメムシの活動が活発になり、被害が増える恐れがあります。
- ・ 小型のカメムシ類は粒剤・豆つぶ剤でも防除効果がありますが、大型のカメムシ類には防除効果が低いため、液剤・粉剤での防除がより効果的です。
- ・ 散布剤による防除は、【出穂7日後（乳熟期）】＋【1回目防除の7日後】の計2回を基本とします。出穂間もない稲にクモヘリカメムシの発生が見られる場合は、出穂期～穂揃期に防除します。
- ・ カメムシ類は、水田に移る前は畦畔や土手のイネ科雑草に集まり、産卵・増殖します。水田周辺のイネ科雑草が出穂する前に、計画的に草刈りをしましょう！
- ・ 水稻の出穂10日前までに草刈りを終了しましょう。出穂後の草刈りは被害を助長する恐れがあるため行わないようにしましょう。
- ・ 水田内に残草（ヒエ、ホタルイ）があると、水稻の出穂前に水田内に侵入するので、水稻の出穂前に抜き取りましょう！



↑アサジカスミカメ
(体長約5mm)



↑クモヘリカメムシ
(体長約16mm)

★熱中症に注意★

気温の高い日が多くなっています。
こまめな休憩と水分補給で熱中症を予防しましょう！